

2025年度 施策マネジメントシート【2024年度実績評価】 作成: 2025 年 6 月 18 日

施策番号	施 策 名	生涯を通じた健康づくり	基本目標 誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり			
			政策名 いつまでも健康で安心して暮らせる保健医療環境づくり			
	主 管 課	健康福祉課	課長名	森 真由美	内 線	145
	施策関係課	子育て支援課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果		
運動や食生活の改善などの推進により、健康的な生活習慣や食習慣を促すとともに、健診・保健指導などにより、自らが行動し生活習慣病を予防する健康づくりをすすめます。		町民	・健康的な生活習慣及び食習慣を身につけてもらう ・生活習慣病の有病者・予備軍を減少させる				心身ともに健康で生き生きと健やかに暮らせる		
成果指標		説明	単位	策定時(基準値)	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績	2026年度目標
①	日頃から健康的な生活習慣を身につけている方だと思う町民の割合	住民意識調査	%	65.2 (R3)	63.5	63.5			70.0
②	特定健診受診率	健診等成果	%	34.0 (R2)	36.9	41.4			60.0
③									
④									
成果指標設定の考え方		① 健康づくりのためには日頃から健康的な生活習慣を身につけることが必要であることから成果指標に設定。 ② 特定健診受診率の増加により健康状態が不明な方を減らし、生活習慣病の予防や重症化予防を目指すため、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、国の目標値にに合わせて設定。							

2. 施策の事業費

	策定時決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費（千円）	2,960,327	2,944,889	2,937,609		

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察									
①2024年度の成果評価 (前年との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した		想定される理由	特定健診をはじめ各種健(検)診では受診率はわずかな増加にとどまっているが、ウォーキングモニター事業では30代からの若年層を含め、健康づくりの取り組みへのきっかけや継続への後押しとなった。新型コロナワクチン接種等によって疾病の予防や重症化予防により健康増進に繋がった。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった								
	<input type="checkbox"/> 成果は低下した								
②第5期総合計画後期実施計画(2026年度)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる		根拠(理由)	住民意識調査では70代以上の男女ともに「健康的な生活習慣を身につけていると思う割合」が他の年代に比べて高く、次いで10代・20代が高い結果となっている。 生活習慣病予防は若い頃からの生活習慣が重要であり、子どもの頃からの望ましい食事や運動習慣等を学び身につける機会の継続と、健康ポイント制度等の健康行動の習慣化を促す取り組み等により目標に近づけることができると考える。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能								
	<input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい								
(2) 施策の成果評価に対する2024年度事務事業総括									
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	特定健診事業・特定保健指導事業			②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業					
	各種がん検診事業								
	健康ポイント制度運営事業								
	児童・生徒健康教育事業								
③事務事業全体の振り返り(総括)	・健診未受診者への受診勧奨を強化し、生活習慣病の予防と早期発見に努めた。また、健診受診者への保健栄養指導を実施し、疾患予防や重症化予防を図った。 ・がん検診の受診勧奨に加え、がん治療による精神的経済的苦痛の緩和軽減を目的に助成事業を開始し、健康相談の機会にも繋がった。 ・ウォーキングモニターによる健康ポイントの試行事業を実施。健康づくりへの動機づけや継続した取り組みの後押しに繋がる結果であったことから、本格的な運用への準備を進める。 ・子どもの頃からの健康的な生活習慣を作るため、家庭全体への支援が必要であり、学校現場と連携し、児童生徒生活習慣病検査結果等に基づき個々に対し健康・栄養相談を継続して実施する。								
	(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)								
担当課評価	特定健診の新規及び継続受診の勧奨方法及び、申し込み方法の工夫・簡略化等により健診機会の確保に取り組んだ。また、児童生徒及び若年層からの健康相談や健康教育、ウォーキングモニター事業での健康づくりのきっかけづくりや取り組みの後押しなど、取り組みは進めているが、成果指標の数値への反映はわずかであるため維持とする。			進捗結果	A	B	C	D	E
								○	

A: 実現した                      B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した                      C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した  
D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した                      E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>生活習慣病予防に着目し平成20年度から制度化された特定健診を始め、がんの予防や早期発見早期治療、感染症の予防や重症化予防、心の健康や自殺予防など、国民の健康増進、健康寿命の延伸を目指すための保健事業を実施。特定健診については、第3期芽室町データヘルス計画(令和6年度～令和11年度)に基づき実施している。</li></ul> <p>《今後の予測》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>生活習慣病の増加に対し、若い頃からの生活習慣病予防の重要性が高まっている。子どもの頃からの習慣や意識は周囲の大人によって作られていくものであることから、すべての世代が、健康的な生活習慣を知り、身につけられるよう支援していくことが重要である。</li></ul>
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	<ul style="list-style-type: none"><li>ウォーキングモニターの取り組みは、町民が楽しんで参加している印象。楽しいイメージで健診などについてもアプローチしてほしい。→ 多課の若手職員チームを組み、キャラクター作成や周知方法の工夫に取り組んでいる。</li><li>町民が健康的な生活習慣を身に付けられるよう、ハード面は、環境が整ってきているため、ソフト面で環境を整えてほしい。→ ウォーキングを町民全体に普及するためアプリ導入を検討している。</li></ul>

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たにに取り組むべき課題)

<ul style="list-style-type: none"><li>受診率が低いことで生活習慣病予備軍の発見が遅れる可能性があり、未受診者を減少させることが重要である。節目年齢無料対象者や、通院治療中で健診未受診者に、特に受診勧奨を強化する。</li><li>健診を数年に一度でよいと考えるまだら受診を減らすため、継続受診の重要性を訴える。</li><li>子どもの頃からの望ましい食事や運動習慣等を学び身につける機会を確保することで、健康な心身を育て、さらに家庭全体への波及効果につながることから、関係課の連携により今後も継続して取り組む。</li></ul>
---

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標等から、維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価同様に維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"><li>健康診断受診のチラシは文字が多い気がする。どれも大事な情報だが、関心がない人向けに、アプローチできるようなものもいいのではないかと。</li><li>ウォーキング促進のアプリの導入検討について、楽しみながら運動できるのが理想なため、そういうアプリができると嬉しい。</li><li>健診の受診率を上げるために、未受診者に働きかける施策を考えるのはどうか。初めて健診を受ける人が増えると早期の発見につながると言われる。そういう工夫はどうか。</li><li>帯広市には、SPOBY(スポビー)というアプリがあり、目標値を達成すると特典が貰えるものである。メリットがあるとアプリを入れる人も多い。</li></ul>	A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した					